



My Town Tobetsu

広報

とうべつ

発行=当別町 編集=企画課

No.442 平成2年7月1日発行

7

夏の訪れ。当別川をカヌーで川下りなんて楽しいな。

# マイストングに踊りの輪

「夏至祭」3,000人の家族連れでにぎわう



マイストングを囲んでのフォークダンス

スウェーデンとの交流を深めようと、獅子内のスウェーデン交流センターで6月24日、日本で唯一と言われる「夏至祭」が開かれ、町内外から約3,000人の家族連れが訪れ、初夏の一日を楽しみました。夏至祭は、夏の短いスウェーデンで一年中で昼が最も長い日に、太陽の恵みに感謝とともに、健康や豊作などを祈る祭りで、スウェーデンの伝統的行事です。

町は、昭和62年10月にスウェーデン・レクサンド市と姉妹都市提携を結びました

が、レクサンド市の夏至祭は、スウェーデンの中でも最も盛んな地

方とされています。

今年で7回目を迎えた夏至

祭は、町青年団体協議会の郷

土芸能部員7人による「どうべつ太鼓」の迫力ある演奏のなか、シラカバの葉で飾った約10㍍の木の柱「マイストング」の立ち上げで始まりました。

同センター前庭では、当別

中学校プラスバンド部と当別

吹奏楽団が一緒になっての演

奏や自転車運乗りコンテスト

や親子丸太ぎり大会などが行

われました。

また、ガラス工芸工房では、

ガラス宙吹き体験も行われ、

キラキラ輝くクリスタルガラ

スの創作に、参加者は汗を流

しながら挑戦していました。

会場では、イチゴ、アスパ

ラ、花などの当別町の特産物

の販売も行われましたが、約

2時間で完売するという、人

気でした。



参加者によるマイストングの立ち上げ



外国人も参加して、丸太切り大会



駐車場から会場までは、馬車による輸送が人気

祭りの最後は、マイストングを囲んでのフォークダンスの集いが開かれ、ハート音楽院アンサンブルのギター、アコーディオンに合わせて、色鮮やかなスウェーデンの民族衣装を身につけた、札幌フォークダンスサークルのメンバーや、家族連れが踊りの輪を広げ夏の訪れを感じさせる暑さの中、マイムマイムやスウェーデンダンスで自然の恵みを祝った「夏至祭」を楽しんでいました。



生演奏によるフォークダンス曲で会場は盛り上がった

# 広がる国際交流 最終回 レクサンドチームが残したもの

年前からあつたそうです。

今回通訳を兼ねて来町した

ケイコ・ラーソン・ヤハタさんは、チームのキャプテン、シン・ラーソン君の母親で、函館市生まれの日本人です。

このことから、自分の生まれた国で、子供たちにアイスホッケーの試合をやらせたかつたといいます。

3月16日、17日とスキー場にて記念撮影



当別町に着いたあと、街の中を見て歩くレクサンドチーム一行

スケート国王、レクサンドチーム少行25人が来町しました。各地で進む地方自治体での国際交流今まで遠くにあつた存在が、身近なものとなつてこの町にも現れました。

少年アイスホッケーチームの来町は、昭和62年10月にレクサンド市と姉妹都市提携をしてから、本格的な民間レベルでの訪問団となりました。

今日は子供たちを中心とするスポーツ団体であり、今までにない交流が行われました。同チームが、日本に来て試合をしたいという希望は、2

当別町、北海道アイスホッケー連盟、スウェーデン交流センタ、当別・レクサンド都市交流協会(宮永龍美会長)の協力で実現しました。

レクサンド市の人口は約14,000人、スウェーデン国内では、最もアイスホッケーの盛んなところで6,000人収容の市営アイスアリーナがあり、同市のシニアチームは全国優勝するなど大活躍をしています。

さすが本場の力を発揮!

子供たちは、小学校に入る前からアイスホッケーをするそうで、今回来町したチームも、アイスホッケー幼稚園に入り、6歳の時からチームを組んでいるそうです。

ダニエル市長が「レクサン



ドの子供たちは、男はアイスホッケー、女は乗馬で体を鍛えています」と言うように、

男の子にとつては「圧倒的に人気のあるスポーツです。

雪印スケートセンターでの王子ジュニア戦、札幌選抜戦で、14対0、9対1と日本を代表するジュニアチームに圧勝したことでも証明されます。

ところで、子供たちは当別で2泊3日のホームステイをし、試合に臨みました。

お世話した家庭では、外国人のホームステイは初めての人も多く、多少の不安もあったようです。

今後は、更に交流も活発になり、ホームステイの受け入れも重要な課題になると思いま

す。

言葉も生活風土も違う人を迎えるのは大変な事かもしれないが、心を広げ迎え入れることが、国際交流の前進につながることになるでしょう。

このような環境づくりが、町民の中に少しづつ育つこと、これにはいられません。

(おわり)

親善に大活躍のケイコ・ラーソン・ヤハタさん



サッカー少年団と一緒に記念撮影



エイ・ヤー これでいいのかな



当別中学校の生徒から赤い帽子がプレゼントされた

迎え入れるのは大変な事かもしれないが、心を広げ迎え入れることが、国際交流の前進につながることになるでしょう。

このように環境づくりが、町民の中に少しづつ育つこと、これにはいられません。

# まちの話題 あれこれ

当別花卉（かき）生産組合（重原昌章組合長・75戸）の農家では、6月中旬からカスミソウの出荷が最盛期を迎えています。

当別町は、切花では全道で2番目の生産を誇り、カスミソウ、カーネーション、スターチスなど約20種類の花が6月中旬から11月まで、主に道外に出荷されており、昨年の生産額は4億円近くに達しています。

蕨岱町の山田章司さんのビニールハウス内には、カスミソウの白い小花が咲きみだれ、独特の香りを漂わせています。

くもりの日が早朝に、1本1本手作業で刈りとり、上当別の共選場で発泡スチロールに入れ冷やしてから市場に送られています。

## カスミソウ出荷最盛期



## 恵まれた自然に感銘



日本の青年との交流のため町内にホームステイ中のシンガポール青年15人が6月16日、配野定平町長を表敬訪問しました。

一行は、国際協力事業団が進める「21世紀のための友情計画青年招へい事業」で招かれた18歳から28歳までの大学生らで、5月下旬から来日し、東京で研修を受けたあと北海道入りしたものです。

滞日期間中ホームステイするのは当別での3日間で、18日まで当別町内の見学、東日本学園大の学園祭などの見学も行いました。

この日、町役場を訪れた一行（写真）は、「当別の自然に恵まれた風景は素晴らしい、油絵を見ているようです」と当別の印象を述べていました。

## ハーブティーのブレンドいかが



青山中央小中学校（内堀堅造校長）の全児童・生徒16人が5月24日、自然学習を兼ねて採ったばかりのフキ、ウドを太美町の町立養護老人ホーム「長寿園」を訪れプレゼントしました。

同校は6年前に同園から学校用花の苗をもらったのをきっかけで、毎年訪れお年寄りに贈っているものです。

この日は、学校近くの山に入りフキとウドを探りましたが、今年は豊作で1時間半で約80キロの収穫がありました。

老人ホームでは、梅村知里さん（小3年）と山内康君（小4年）が代表して浅賀精一さんらに手渡しました。

このあと、園内に入ってお年寄りに歌や器楽演奏などを披露し交流を深めました。

## 80キロの山菜プレゼント



東日本学園大学で6月17日「薬草園を見る会」が開かれ、地元や札幌から150人が参加して、山菜や漢方スパイスの講演、人気のハーブティーの楽しみ方などの講座が行われました。

この日は、羽賀正信薬学部教授が、「山菜の話」と題して身近に手にすることができるワラビ、フキやフキノトウについて講演しました。

同教授の「ワラビには、プタキロシドという毒があり、発がん性があるといわれています。古い文献にも十分あくぬきして食べるとあるのはそのためでは」との説明に参加者は真剣に聞き入っていました。

このあと、ハーブティーの作り方にについて実演と試飲会があり、ペパーミント、ラベンダーなど15種類をブレンドしながらハーブの香りと味を楽しんでいました。

当別町内の小・中学校のトップをきって当別小学校（奈良孝秋校長・児童数773人）で6月3日、運動会が開かれ児童らが元気いっぱいに競技を繰り広げました。

この日は、早朝まで雨が降り運動会の開催が心配されました。競技開始前には、雨もやみ晴れ間が広がりますますのコンディションとなりました。

1年生は小学校に入って初めての運動会とあって、最初は多少緊張していましたが、徒競走や玉入れなどで元気いっぱいの競技をし、父母から盛んな拍手をあびていました。

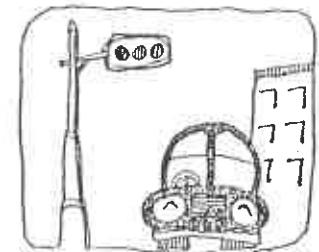
この日のハイライトは、紅白リレーで、1年生から3年生の男女と4年生から6年生の男女別で行われ、応援歌を歌しながらの応援と、大声援がわきあがっていました。

## 紅白リレーに大声援





# お知らせ



楽しいレジヤーは  
安全運転から!!

本格的な夏の行楽シーズンを迎えるこの時期は、レジヤー活動の活発化に伴って、スピード運転や追い越しによる重大事故が多発する傾向にあります。このため、7月1日(日)から8月9日(木)までの40日間、「夏の交通安全運動」を展開します。運転者も歩行者も次のことを注意して、交通事故の防止に努めましょう。

◎スピードの出し過ぎや過労による事故が目立っています。ちょっととした気の緩みが事故のもと、十分注意をしましょう。特に、歩行者や自転車を見かけたら、相手はまったく車に気がついていないと思って、側方通過時には、徐行をしましょう。

◎道路を横断しようとするときは、車は自分に気がついていないものと常に思って、注意して行動しましょう。

◎家庭では、常日ごろから交通安全について話し合い、交通安全意識を高めましょう。

(わたしも交通安全運動)

## 大会参加者募集 ふれあいスポーツ

### 申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、親の会及び老人クラブ会員以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも

のです。開催日時等及び申

込方法は次のとおりですの

でふるつて参加ください。

## 農業委員の選挙

申込み問い合わせ

身体障害者当別町分会、

親の会及び老人クラブ会員

以外の方は、大会事務局(福

祉保育課福祉係 ☎ 3-23

30番内線 133)まで電

話にて7月16日(月)まで

に申し込みください。

ふれあいスポーツ大会は、

心身に障害をもたれる方とお

年寄りが、スポーツを通じて

ふれあいの輪を広げることを

目的とし毎年開催しているも



# みんなの場

## 初夏の味覚 イチゴの出荷ピーク

初夏の味覚であるイチゴの出荷が、当別いちご生産組合（鎌田喜慶組合長）でピーカーを示されました。

中には、一本の木からピンクと白の花を咲かせているサツキなどが色あざやかでした。

当別高校農業クラブ（須藤聖治会長）の生徒が6月16日、太美町にある養護老人ホーム「長寿園」の花壇造りの奉仕活動を行いました。



農業クラブは、同校の農業草花を、地域の美化にと約10年前から始めています。この日は、地域ごとに6班に分かれて、高岡会館や春日グランダなどの花壇造りを行いました。

長寿園では雨の降る中、太美町から通学している生徒らが直径8尺の円形花壇に、約1時間半かけて、マリゴーラド、アリッサムなど800株を植えました。

町民に盆栽の楽しみを知つてもらおうとサツキ、カラマツ、イチイなど丹精込めて育てた盆栽展が6月15日、16日の両日町公民館で開かれました。

当別盆栽会（三浦孝一会長

## 公民館で盆栽展 並んだ自信作



盆栽は、最低でも10年かかると言われるだけに、出点されたものは、どれも年期のはいった自信作ばかりで、訪れた人も熱心に見入っています。



盆栽として、イチゴの生産に力を入れていますが、今年も24戸の農家で約3.4ha、約25haの収穫を見込んでいます。ハウスものは札幌祭りがピークで露地物は6月下旬から穫れ始めています。

今年は、昨年より甘みも十分あり、まずまずの出来といふことで、真っ赤な大粒のイチゴを摘む表情も明るいようです。



稻葉真一さん(中小屋)撮影

茂平沢地区では、地域の特産品として、イチゴの生産に力を入れていますが、今年も24戸の農家で約3.4ha、約25haの収穫を見込んでいます。ハウスものは札幌祭りがピークで露地物は6月下旬から穫れ始めています。

今年は、昨年より甘みも十分あり、まずまずの出来といふことで、真っ赤な大粒のイチゴを摘む表情も明るいようです。

一年中どこでも見ることができます。冬はエサ台にもきて脂身を食べます。シジュウカラによく似いますが、頭の黒い部分が後頭部で切れて、冠羽を立てる、他のシジユウカラよりも速いテンポで鳴きます。

## ヒガラ

## 当番医のお知らせ

当番医については変更があります。診療前に必ずお確かめください。また救急以外の夜間診療はさせてください。

平日は17時より翌朝9時まで  
土曜は12時より翌朝7時まで  
日曜、休日は7時より翌朝9時まで

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
①近勤	2	3	4	5	6	7	8	9
9勤	10	11	12	13	14	15	16	17
勤	太	近	池	堀	池	太	近	太
17池	18	19	20	21	22	23	24	25
26勤	27	28	29	30	31	堀	/	堀
25堀	26	27	28	29	30	31	堀	勤
8月	1勤	2太	3池	4近	5中	6堀	7堀	8勤

池田 医院 ☎ 3-2016 白樺町  
近藤 診療所 ☎ 3-2021 旭町  
中央 外科 ☎ 3-3004 旭町  
太美 中央病院 ☎ 6-2332 太美町  
勤 医 協 ☎ 3-3010 末広町  
堀江 病院 ☎ 2-3111 樺戸町

## ぐるーぷ・サークル紹介



## 健康とストレス解消に

### シャトルママ

「手軽と思つてやつてみたが、けつこうハードですよ」とバトミントンクラブ「シャトルママ」の代表加賀谷裕子さんは昭和53年結成以来の会員です。

練習し汗を流しますが、「健康とストレス解消が目的」とあつてリラックスムード。しかし、町バトミントン協会主催の町民大会や夏の大会には参加、活躍する会員もあります。

「年中通してやれるので、健康に一番」と浅田則子さんは昭和53年結成以来の会員です。

今年4人が入会し、現在23人と会員の数も増えていますが、バトミントンばかりではなく、花見や忘年会なども行い交流の輪を広げています。

たといいます。

ご寄付ありがとうございました

町総合体育館で、毎週火、金曜日午前9時から3時間、

練習し汗を流しますが、「健康とストレス解消が目的」とあつてリラックスムード。

しかし、町バトミントン協会主催の町民大会や夏の大会には参加、活躍する会員もいます。

「年中通してやれるので、健康に一番」と浅田則子さんは昭和53年結成以来の会員です。

今年4人が入会し、現在23人と会員の数も増えていますが、バトミントンばかりではなく、花見や忘年会なども行い交流の輪を広げています。

たといいます。

町総合体育館で、毎週火、金曜日午前9時から3時間、

練習し汗を流しますが、「健康とストレス解消が目的」とあつてリラックスムード。

## 大麻・亜麻・生産の歴史

### 明治27年の製麻工場跡

六軒町の堀

内友英さん所  
有の納屋は、

明治27年に建

設された製麻  
工場の蒸気工

ンジンなどが、  
あつた機関庫

跡です。  
開拓当初  
は、むぎ、豆、  
あわ、いなき  
び、ひえなど  
は、生産量も  
少なくほとん  
どが自給用  
だつたため、  
販売作物とし



て、明治7年に大麻、明治22年  
頃からは亜麻が作られました。

当別町史などの記録によれば、大麻は明治28年、耕作面

積728畝、生産量409kg、  
亞麻は、大正7年、670畝、  
2,010kgという生産量に

なっています。

このため、帝国製麻株式会  
社が六軒町に、当別製縫工場  
を建設したものです。

亜麻は、ロープなどの材料  
として盛んに使われ、六軒町  
にはレンガ建ての機関庫の他、

幅12尺、長さ50尺ほどの工場や  
大きな倉庫が約20棟建設され、  
ここには100人以上の人  
が働いていたとされています。  
しかし、昭和2年火災のた  
め工場は焼失し、今はレンガ  
造りの建物だけが残って  
います。



### おじいさん・おばあさん (39)

#### カメラ歴60年 アルバムも60冊



太田喜代作さん  
(東裏・74歳)

東裏で生まれ育った太田  
喜代作さん。

「この辺は泥炭地で、水田  
作りには苦労しました」と  
話します。

條津運河の掘削した土を  
水田に入れ、土地の改良を  
し、昭和43年に運河の完成  
でやっと水稻づくりが、本  
格的になつたんですと話し  
ます。

「泥炭地に建てた住宅は、  
5~6年で傾き、10年もて  
ばよいほうだった」と当時  
を振り返ります。

しかし、この泥炭を燃料と  
して、多くの家では貴重な資  
源として利用したそうです。

太田さんは、中学生の時から  
カメラを持ち、自分で現像  
をしていましたそうです。  
カメラ歴60年、町の様子  
や生活を撮った写真がアル  
バムに60冊あるといいま  
す。

5台のカメラを片手に、  
まだまだ撮り続けますと、  
元気いっぱいのおじいさ  
ん。これからも頑張つてくれ  
ださい。

### 人のうごき

6月1日現在 (前月との比較)	
総 数	15,900人 (+1)
男	7,940人 (+3)
女	7,960人 (-2)
世帯数	5,296戸 (+9)
5月中の出生	8人
死亡	11人
転入	87人
転出	83人

文献に毒抜きと思われる、あ  
くぬきの方法が細かく書かれ  
ているのにもびっくりです。  
それにしても、江戸時代の  
食べ物には、古い歴史と  
人々の知恵があることを、あら  
ためて思い知られました。

東日本学園大学での山菜の  
講演会に顔を出して見ました。  
ワラビの話が主でしたが、

このワラビに毒があり、発が  
した多くの人は多少のショッ  
クを受けたに違いありません。  
私自身もびっくりしまし  
た。なんとなく、普段口にす  
る山菜は、身体に害があると  
は思われなかつたからです。

### 句読点